令和5年度
動物実験等に関する自己点検・評価報告書

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

令和7年2月

文部科学省が策定した「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）（平成 18 年文部科学省告示第 71 号）」、環境省が策定した「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「実験動物飼養保管基準」という。）（平成 25 年環境省告示第 84 号）」並びに国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構が規定した「動物実験等実施に関する規程（28 規程第 77 号）」に基づき、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの期間において、基本指針及び実験動物飼養保管基準への適合性と遵守状況を点検及び評価し、これらをまとめたので報告する。

令和 7 年 2 月 27 日

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
理事長 小安 重夫

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験等実施に関する規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・機構における動物実験の規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある ☐ 動物実験委員会を設置していない
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験等実施に関する規程 ・国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構動物実験委員会設置細則 ・動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・基本指針に従い動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・特になし。

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている</p> <p>☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある</p> <p>☐ 動物実験の実施体制を定めていない</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・動物実験等実施に関する規程・動物実験計画書・動物実験実施に関する自己点検及び動物実験経過報告書・動物実験実施に関する自己点検及び動物実験終了報告書・動物実験実施に関する自己点検及び動物実験中止報告書
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none">・動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告に関する実施体制が規定されており、各種様式が定められている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none">・特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p>☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p>☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p>☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p>☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・動物実験等実施に関する規程・千葉地区遺伝子組換え実験安全管理規則・千葉地区放射線障害予防規程・千葉地区バイオセーフティ管理規則・千葉地区サル類取扱要領・千葉地区事故対策規則・高崎量子応用研究所化学物質管理要領・高崎量子応用研究所化学物質リスクアセスメント実施要領・化学物質リスクアセスメント実施手順・高崎量子応用研究所放射線障害予防規程

<ul style="list-style-type: none"> ・高崎量子応用研究所放射線安全取扱手引 ・RI測定室及びセミホットラボにおける実験動物の飼養及び取扱いマニュアル<高崎地区> ・高崎量子応用研究所遺伝子組換え実験安全管理規則
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理に注意を要する動物実験の内規が適正に定められ、実施体制が整備されている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物実験等実施に関する規程 ・千葉地区衛生管理基準 ・実験動物施設の管理体制<千葉地区> ・実験動物施設設置承認申請書 ・実験動物施設設置変更申請書 ・実験動物施設等廃止届 ・実験動物取扱マニュアル（各実験動物施設）<千葉地区> ・実験動物施設における災害及びパンデミック時の対応マニュアル ・実験動物導入申請書 ・高崎量子応用研究所動物実験等に関する組織体制図 ・高崎地区実験動物施設の管理体制 ・RI 測定室及びセミホットラボにおける実験動物の飼養及び取扱いマニュアル<高崎地区> ・生命科学研究棟 315 号室における実験動物の飼養及び取扱いマニュアル<高崎地区> ・高崎量子応用研究所地震発生時点検等対応要領 ・高崎量子応用研究所事故対策規則
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規程、衛生管理基準に基づき実験動物施設と動物実験室が設置されている。 ・各実験動物施設には実験動物管理者が置かれ、適切な実験動物施設の管理体制となっている。 ・昨年度の自己点検・評価の際に、高崎量子応用研究所のマニュアル中にパンデミック等の災害時

の対応や連絡先が一部記載されていなかったため、マニュアルを改正して記載した。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

- ・令和6年3月末時点で千葉地区の実験動物施設は10施設、高崎地区の実験動物施設は2施設となっている。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会の議事録に関する資料（7回分） ・動物実験委員会資料（7回分） ・諮問及び答申に関する決裁文書 ・報告に関する決裁文書及び業務連絡書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・動物実験等実施に関する規程に基づき、適正な委員会活動が実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画書 ・動物実験計画書の承認に関する決裁文書 ・動物実験計画書について（審査結果通知書） ・動物実験実施に関する自己点検及び動物実験経過報告書 ・動物実験実施に関する自己点検及び動物実験終了報告書 ・動物実験実施に関する自己点検及び動物実験中止報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・動物実験計画書の立案、審査、承認が適正に実施されている。また動物実験責任者による動物実験計画ごとの自己点検は全て提出されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物実験実施に関する自己点検及び動物実験終了報告書
- ・実施された動物実験については、以下の内容の実験が含まれている
 - ・放射性同位元素使用実験
 - ・MRI 装置使用実験
 - ・放射線照射実験
 - ・遺伝子組換え生物等実験
 - ・特定有害物質投与実験
 - ・病原体等の取扱い実験（感染実験）
 - ・霊長類を用いた実験

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

- ・安全管理を要する動物実験の実施方法については、動物実験計画書の審査段階で動物実験委員会により確認され、計画書承認後は計画書に従って関連法令や規程等を遵守して実施されている。
- ・遺伝子組換え実験安全委員会及びバイオセーフティ委員会の委員と事務局員の一部が動物実験委員会を併任しており、情報共有ができる体制となっている。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育室の温湿度記録 ・使用ケージ数調査記録<千葉地区> ・飼育関係の作業の記録日報 ・動物管理区域立入者届<千葉地区> ・動物管理区域見学者等立入申請書<千葉地区> ・実験動物施設入退記録簿 ・実験動物飼養数調査の記録 ・検疫に関する資料<千葉地区> ・定期微生物検査（微生物モニタリング）結果 ・産業廃棄物管理票（マニフェスト） ・実験動物取扱マニュアル（各実験動物施設）<千葉地区> ・実験動物飼養保管状況の自己点検票 ・実験動物導入申請書 ・実験動物導入申請結果について（審査結果通知書） ・RI 測定室及びセミホットラボにおける実験動物の飼養及び取扱いマニュアル<高崎地区> ・生命科学研究棟 315 号室における実験動物の飼養及び取扱いマニュアル<高崎地区>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験動物施設では施設ごとのマニュアルを作成し、これを遵守しつつ実験動物の飼養が行われている。 ・定期的及び外部機関からの動物導入時に適宜微生物モニタリング、微生物クリーニング及び検疫が行われ、実験動物施設の適正な衛生管理が図られている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験動物設備保全巡回記録<千葉地区> ・空調設備機器の運転日誌及び定期点検記録<千葉地区> ・飲水関係の機器点検記録<千葉地区>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一種圧力容器性能検査結果報告書<千葉地区> ・ 第一種圧力容器自主点検記録<千葉地区> ・ EOG 滅菌器作業環境測定結果報告書<千葉地区> ・ 機器類の定期自主点検結果記録 ・ 実験動物施設設置申請書 ・ 実験動物施設変更申請書 ・ 実験動物施設廃止申請書 ・ 実験動物施設について（審査結果通知書） ・ 動物実験室設置申請書 ・ 動物実験室変更申請書 ・ 動物実験室廃止申請書 ・ 動物実験室について（審査結果通知書） ・ 所長巡視結果<高崎地区>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化していた施設や機器については、順次、機能移設や機器類の更新が行われ適正に維持管理されている。 ・ 実験動物施設 2 箇所加湿装置が故障したが、応急措置として各飼育室に加湿器を設置する等対応して飼育環境の維持を行い、飼育動物の健康状態に問題ないことを確認している。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育施設の異常事態に備えて、速やかに応急的な処置が取れるように、関連部署との連携を強化するなどの体制を整えると共に、引き続き、更新に必要な予算の獲得を目指す。 ・ 実験動物施設 2 箇所故障した加湿装置については、1 箇所は令和 6 年 10 月迄に修理を完了し、もう 1 箇所は令和 6 年 12 月末迄に装置を更新する計画となっている。

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物実験等実施に関する規程に基づく教育訓練に関する資料 ・ 実験動物施設の新規及び追加の立入教育訓練等に関する資料 ・ 実験動物管理者の教育訓練受講記録<千葉地区> ・ 保安教育訓練記録票<高崎地区>

<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規程に基づき実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等従事者に対して毎年度行う教育訓練が適正に実施され、対象者全員が受講した。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物実験等実施に関する規程 ・ 「Ⅱ. 実施状況」の1～6の資料 ・ 回議書 ・ 量子科学技術研究開発機構ホームページ (https://www.qst.go.jp/site/about-qst/1331.html)
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物実験委員会において自己点検・評価が実施されるとともに、動物実験に関する情報を基本指針に基づきホームページで情報公開が実施されている。また、関連事項についても、動物実験委員会で審議の後、情報公開を行っている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉地区では、地震等の災害やパンデミック発生時等の非常事態に備えて、毎年11月末に災害時に飼育すべき動物数の調査を行い、その結果を踏まえて、各実験動物施設で2週間分の飼育器材や飼料等を確保しており、動物実験への影響がないように対応している。 ・ 高崎地区については、上記の非常事態の際には、動物実験を中止する計画である。